

兵庫県保険医協会評議員会特別講演ご案内

「新自由主義の破綻と 資本主義のゆくえ」



神戸大学教授 二宮 厚美先生

- 日時 5月17日(日)15時30分~17時
- 会場 兵庫県保険医協会会議室

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2009年4月25日号 No.192
 発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
 支部長 中井通治
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
 神戸フコク生命海岸通ビル5階
 ☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802
 http://www.hhk.jp/

第4回医科・歯科合同在宅ケア研究会／感想文

安心安全な医療の未来を信じて

北阪神支部は3月14日、伊丹市ラストホールで医科・歯科合同在宅医療研究会「在宅での口腔機能管理の基礎知識」を歯科衛生士の朝田美鈴氏を講師に開催、35人が参加した。参加者の感想文を紹介する。



歯ブラシなどを使って口腔ケアの実習も行った

今回在宅ケア研究会に参加させていただきました。大変有意義な時間であり、朝日先生の講義も実習を交えての体験型学習でありとても勉強になりました。

一言に口腔ケアと申しましても様々な状況があり、その方の今までの歴史や、現在置かれている生活環境、これからのライフスタイルなど幅広い観点での取り組みが必要となってきます。例えば、人はこの世に生を受け、誕生し、成長し、食物を口に運び、言葉を発し、感情を持つ健康な人間であれば、それはごく自然

な営みです。しかし、急なアクシデント、思いもよらない病気や事故で昨日まで普通に送っていた日常が一変してしまう場合があります。でも、そんな時、日頃から自分が信頼できる先生、いわゆるかかりつけの先生がいるだけでどれだけ安心できるでしょう。

私の勤務する医院においても患者様の高齢化が進み、また、年齢に関係なくさまざまな疾患や心の悩みをもっておられる方と、本当に患者様お一人ごとにドラマがあります。それに従い治療におけるリスクも当然高くなります。そんな中、一人でも多くの患者様が安心して治療が受けられますよう、先生たちは初診時および再来時のいわゆる医療面接に重点を置き、医療側も安心して治療が行えるよう患者様にも信頼していただける医

(2面につづく)

春の共済制度普及 4月1日 受付開始!

保険医協会の団体定期保険

<毎月10日締切> (翌々月1日発足)

グループ保険

新規・増額 加入受付!

- 団体保険だから断然安い保険料
- 最高5000万円の高額保障／配偶者1000万円セット加入あり
- 毎年高配当を維持、昨年度配当は46%
- ライフプランに合わせていつでも増額・減額できます
- 保険金額に関わりなく、面倒な医師による診査は不要

万ーのためのコストは安さが魅力です。この機会にご加入ください!

公的保障の乏しい医師・歯科医師の 6月25日締切(9月1日発足)
老後設計に最適

保険医年金

現在の予定利率1.256%

自在性が魅力! 急な出費にも1口単位で解約可能／払込が困難なときは掛金中断、余裕ができたなら掛金再開／年金受給時には10年・15年定額、15年・20年連増年金から選択、または一括受取／万ーの時はお遺族に全額給付

- 月 払: 1口1万円～(通算30口まで)
- 一時払: 1口50万円～(毎回40口まで)

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

(1面のつづき)

療を常に心がけております。

これから世の中が何につけても大変に厳しい状況となり、それに比例して在宅や施設でのケアの現状は非常に困難かつ過酷なものとなってまいります。診てもらって当然、診る側の「診てあげている」では、いつまでたってもより良い関係など生まれません。診てもらう側も診る側も互いに歩み寄る努力をし信頼できる関係を築くことができはじめて、安心な医療を互いに時間できるのだと思います。

【上り口歯科・歯科衛生士 尾崎さとみ】

毎回好評の職員接遇研修会

信頼される医療機関目指して

北阪神支部は4月18日、伊丹商工プラザで大阪国際大学短期大学部教授の油谷純子先生を講師に職員接遇研修会「信頼関係を築くコミュニケーション能力の向上」を開催。今回は医療安全対策研修会としても位置づけ、14医療機関から28人が参加した。

講師は「医療危機のもと、患者が安心できるホスピタリティを備えたスタッフの育成やコミュニケーション能力のアップが求められている」とし、あいさつや受付での対応、電話での言葉遣い、クレーム処理などの実例を通じて留意点を紹介した。



講師の油谷先生

また、信頼される医療機関の条件として①患者の話をよく聞いてくれる②治療や病状について詳しく説明してくれる③設備が清潔である…などのポイントを指摘。「医療機関での接遇は単なる技術でなく、患者という弱い立場に寄り添う意識を常に持つことが重要」と呼びかけた。

参加者からは、「自分の窓口対応を見なおすよい機会になった。医院に持ち帰って役立てたい」「患者さんの身になって考えることの大切さを再認識した」などの感想がだされた。



医療機関でよくある電話のやりとりを練習

伊丹社保協

「所持金6円」の相談者も

一職安前で雇用・生活相談会を開催



伊丹職安前で早朝宣伝した様子

小泉幹事が会長をつとめる社会保障をよくする伊丹の会(伊丹社保協)は4月2日、伊丹中央公民館で雇用・生活に関する「なんでも相談会」を開催した。

事前に伊丹職安前で行った宣伝では、「仕事がなく困っている」「生活が厳しい」「税金の減免制度について聞きたい」など相談員に多数の声がかかった。中には「所持金が6円しかない」という人もおり、即座に相談員が生活保護申請手続きのため

市の窓口へ同行した。

相談会では、経済・雇用情勢の影響を受け、会社が倒産、派遣切りにあうなどの事情を抱え、「仕事が見つからない」、「保険料が高すぎて払えない」「病気が医者にかかれない」など深刻な悩みが出されたのに対し、各種減免制度や生活保護の申請方法、破産手続きなど具体的なアドバイスを行った。



「ピラを見てきた」相談者に丁寧に対応

健康情報テレホンサービス

〈5月のテーマ〉 通話料無料 (0120) 979-451



- 月曜日 小児の血尿と蛋白尿
- 火曜日 口は健康のバロメーター
- 水曜日 スポーツと疲労骨折
- 木曜日 くり返す膀胱炎の予防
- 金土日 高齢者の睡眠障害について

※テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。

<http://www.hhk.jp/>